

幼児の體力遊戲雜感

附屬幼稚園 上 遠 文 子

丈夫な子供、強い子供、體力ある子供。

今や大東亞戰爭も苛烈なる今日、皇軍の進撃せる戦果を耳にしつゝ、我々保育にあたる者は次代を擔ふこの幼い幼児達を、強く、健康に保育し御國の爲に存分働ける人

に、御國の爲に盡す人になる様、其處に根柢をおかねばならぬと考へるのは誰しもがたがはぬ所でありませう。第一に體力です。

大事に／＼綿にくるんで育てた子供と、幼い頃より、云はば野育的に、太陽の元に四肢を伸ばし、生活力全部を活用し盡して育つた子と比する時、その好し惡しは言ふま

でもありません。日本刀を鍛へるに、何度でも／＼焼いては打ち、焼いては打ちして鍛へます。鍛へてそして始めてあの様に世界

に誇る日本刀を得ると同じ、人も鍛錬してこそ、始めて、ゆるぎなき體力を得る事が出来るのだと思ひます。「まだ／＼小さいか

ら」と大事にするのは一見大事にした様で

つまる所それはお子さんの爲に不幸でありませう。小さければ小さいなりの鍛錬があります。鍛へられた體力、鍛へられた能力こそ將來偉大なる働を生む資源ともなる事を信じます。

最近大人の體力檢定と同時に、幼時の體力檢査も研究され、各幼稚園で實行された記録は愛育會で既に發表されておりませう。

體力檢査と名もつけば、専門的になります。が、實際幼児と共に、遊戲の一部として取扱つた、實行記録を振返つてみませう。

四月年少組として入園した幼児の體力と、三月卒業する年長組の體力とを比する時、外見上も、實質上も、大なる發育進歩をみる事は誰しもお氣付の事でございます。

「あんなに小さかつた人が」と驚く程、整つて卒業してゆく幼児をみ、私達は喜びと同時に將來に期待を致します。

四月八日に入園した幼児も一週間程経

ち、幼稚園の遊戲なるものも、少し手足を動かせる様になりますので、遊戲の後、體力遊戲も一つづゝ加へてみました。遊戲の度毎でなくとも、少しなりとも馴れる様にと、二年間、各種目を、種々の方法で致しました。同じ一つの種目でも、方法を變へてすれば、その時々に興味も加はり、進んでこの遊戲を好んだ程でした。そして年二回體力檢査としてしらべていたとききました。次に記録をしります。

(一)疾走 自由遊戲の時も庭で、丁度真中にある圓い花壇をまはる競走をして遊んだり、遊戲室では十二・三米位の所を、二組に分れて競走致します。駆る事はまあ誰にも馴れて居る事で、比較的實行される事でございます。年少組の時四月早々檢査致しました。

檢査と申しましても一人、一定の所を駆けさせて計るのは、年少組では特に記録も出ません故、二人づゝ致します。出發點より二五米の所に線を引き檢査はその線に到着時を計ります。その時、到着線より先に目標を作りその目標へ進む様走る事が必要です。即ち先生は線到着時を計る譯です。

四月檢査

満五歳一ヶ月女児 十秒（足の力特に弱く、普通の歩もよちよちの感）

一ヶ月後 八秒

満六歳五ヶ月女児 五秒八（運動方面のよく發達した活潑なる人で特に駈るのは組の中で早い。）

一ヶ月後 四秒八

満六歳 男児 六秒

一ヶ月後 五秒

組として平均七秒程度で一年後は凡そ一秒の開がありました。

(二)荷重疾走 布製の袋に砂を入れた、五五のものをもち、一〇米の距離を走る。

検査の時はこの一定量ですが、遊戯の時は、始めは量の軽いものでないと自信も興味もなくしてしまひます。バケツに砂を入れて競走したり、風呂敷包をはこんだり方法を變へても遊べます。検査の方法は疾走と同様です。

四月検査

満五歳一ヶ月女児 五秒八

一ヶ月後 五秒

年長組の三月 四秒六

満六歳 男児 三秒六

一年後 二秒八
年長組三月 三秒

三、片脚連續跳

これは出来る者も出来る者もありますので、年少組の時は毎遊戯の時に曲にあはせて致しました。曲にあわせてする事は動作を律動的に致しますので、樂に體を使へる様になれると思ひます。

年長組にでもなると片脚跳の競走も出来るでせう。凡そ四〇米足らずの遊戯室の周圍を曲に合せ出来るだけまわりましたら、普通一回乃至二回ですが一人四回といふ子もあり、お互ひに聲援し、顔を眞赤にしてがえりました。検査の時は戸外で二五米の所を出来るだけ往復させその距離を計ります。人数は一度に二人致しました。

五月検査

満五歳二ヶ月女児 三米足らず。(片脚跳が連續に出来ず一動作づゝもやつと)

一ヶ月後 二〇米

満五歳六ヶ月男児 六〇米(がえはる子)

一年後 一三〇米

年長組三月 一五二米

(四)立幅跳 繩を二本で河を作り、河に

落ちぬ様跳ぶ事を約し、一人づゝ跳ぶ、此距離は四月入園當初は五〇糎から大きくして一米内のものが適當。年長組になれば、二・三米も跳びうる様になります。これは跳力の全然ないもの、方法の解らぬもの、跳力の特別あるものとあり、競走や遊びの時は年少組、八〇糎年長組、一米位が適當と思ひます。出来ない者は手を持つて一緒にやる、跳力の理解出来ぬ、歩いて渡る者にも手を持つてやると云ふ事は進歩を少しも補助するものとなるでせう。

敵前渡河に幅跳の效力を聞き、跳ぶ事に小い時より馴れていたならば、と考へられます。これは走つて来て跳ぶのですが檢定は立幅跳で、砂場で致しました。砂場は、石、堅い物等がない様、砂も軟くしておきます。砂場の淵に立き兩足揃へて軽く兩手も反動つけて跳びます。その距離は後足の踵の所までと致します。

五月検査

満五歳二ヶ月女児 五〇糎

一ヶ月後 八〇糎

年長組三月 一米

満五歳七ヶ月女児 一米二〇

一年後 一米四〇
年長組三月 一米五〇

(五)投擲 遊戯の中央に二米位の高さの積木に達磨さんの顔を張りました。紅白の球を達磨さんにつけるのです。達磨さんでなくとも米國の飛行機を描いても、軍艦でも何でも好い。入園當初はその投げ距離といふより目標につける程度より始めるのがよいと思ひます。投力の全然ないもの投力の意志のないものがありますゆへ先生の掛聲等も必要でせう。これは特に練習もの、様で練習の効果はとてみられません。敵に手榴彈を投げつけるのもこの腕です。大いに投力を鍊成致しませう。檢定には一五〇瓦の砂入の御手玉を投げました。此重さは大切で、あまり重すぎる事は危険ゆへ特に注意せねばなりません。

五月檢査

滿五歳二ヶ月女兒 二米一〇
一年後 二米五五
年長組三月 四米三〇
滿五歳八ヶ月男兒 七米八
一年後 九米
年長組三月 一二米六〇

六、懸垂 國民學校に遊びにゆく時、鐵棒にぶら下つたり、ぐるつとまわつたり。

この設備が幼稚園にあれば、常に其處で遊ぶ事により、自然と上手にもなります、腕の力も強くなるでせう。私共にはお庭にも別にありますのであまり記録も上りませんでした。下より二米足らずの高さの所に木製の懸垂棒を渡し、どの位長く下つていられるかと計りました。がまんくらべの様に年長組にもなれば少し位の痛さ、辛さは顔をしかめても我慢する皆さんを、類笑ましくもたのしくなります。手の持方も種々ありますが棒を上からつかむ様に指は親指とも上にははした方がよろしいと思ひます。

四月檢査

滿五歳一ヶ月女兒 一五秒
一年後 二四秒
年長組三月 二分一秒
滿五歳八ヶ月女兒 一分
一年後 一分二秒
年長組三月 五分五五秒
滿五歳十一ヶ月男兒 三五秒
一年後 四三秒
年長組三月 五分三〇秒

比較的女兒の方ががんばる様な傾向でした。體力檢定としては以上の六種目でした。他に、格力、これはお相撲の様な時押

出しつこ等として遊ぶ事によつたり、強い鍛鍊棒の様なのを押し合ふ等により養はれる。同力のお友達との押し合ひもよいが先生相手の押し合ひもそのお子さんの力がわかり面白いものです。

轉回 「でんぐりかへし」 將來航空兵の資源力になるのではないでせうか。勿論堅い板や土の上ではいけません。相當厚い蒲團又はマットをひいて使用する事を忘れぬ様又幼児とも必ず友達同志しない様の約束をせねばなりません。首はなるべく内にまげ、手はしつかりとつゞばり、足は膝よりまげる型がよいと思ひます。出来ない人には體をさへる様にして補助するのも上達の一路でありませう。

前の記録は最も記録の出ない幼児、最も記録の出る幼児のみ記しました。運動不得手な幼児も練習により、正しい指導により、又その子の發育によりあれだけの進歩をみてゐます。急には上手にもなりません。根氣よく、正しい指導により鍊磨する事こそ體力遊戯向上の秘決と信じます。ざれもくゝやる動作のみの進歩でなく、そこには忍耐が養はれ、努力がみられて共に精神鍊磨もなされる事を忘れてはなりません。よりよき指導でよりよき體力を鍊成し、御園に役立つ様幼児を鍊成致しませう。